

宣言書に署名した原田啓介市長
(左から2番目)ら



日田市長ら「イクボス宣言」

職員の生活 仕事の両立応援

日田市の原田啓介市長や日田商工会議所の十時康裕会頭、日田地区商工会の川村陽一郎副会長が、部下のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の両立）に配慮しながら、自らも実践する上、「イクボス」になることを宣言した。

ワーク・ライフ・バランスへの理解を深め、機運を高めてもらおうと、市が11月28日に開いたイベントでの一コマ。行政、経済団体のトップが率先して宣言することで、市内の企業や団体にイクボスへの理解を広め

ることが狙いだ。

3人は、イクボスの普及・啓発を行うNPO法人ファザリング・ジャパンの安藤哲也代表理事の立ち会いのもと、「部下の仕事と私生活の両立を応援する」「自らも実践者として人生を楽しむ」などとした「ひたイクボス共同宣言」に署名。今後、市内の経営者らに「イクボス」を推奨し、官民が連携してよりよい職場環境づくりに取り組んでいくことを誓った。

宣言後、安藤氏による講演も行われ、市職員や一般市民ら約160人が耳を傾けた。

(笠原和香子)